

超耐候性多目的フッ素コーティング材
パイロキープTS-FXクリアー

磁器タイル壁・床面部
施工要領書

平成 25 年 1 月作成

株式会社シリカ・ジャパン

1. 使用材料

品 名	成 分	荷 姿	用 途
パイロキープ TS-FXクリアー	シリル化変性 フッ素系	10kg セット（主材：7kg/缶、 硬化剤：3kg/缶）	下・上共用塗材

上塗材

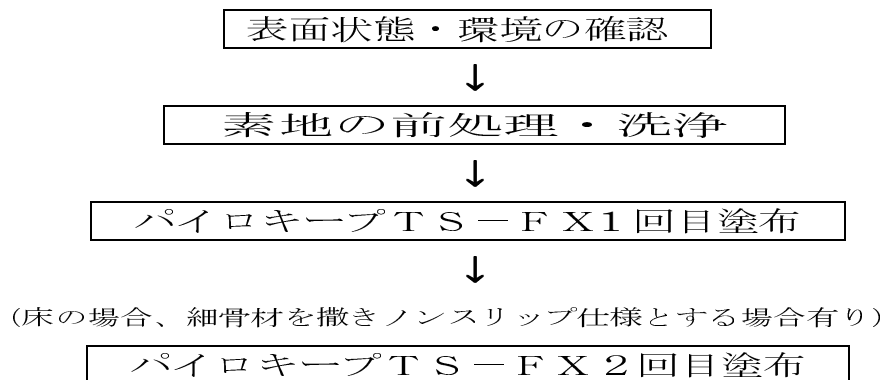
メーカー 株式会社シリカ・ジャパン

商品名 パイロキープTS-FXクリアー

有機溶剤の種類 主剤・硬化剤：第4類第2石油類

規格 10kgセット・4kgセット

2. 1. 施工順序

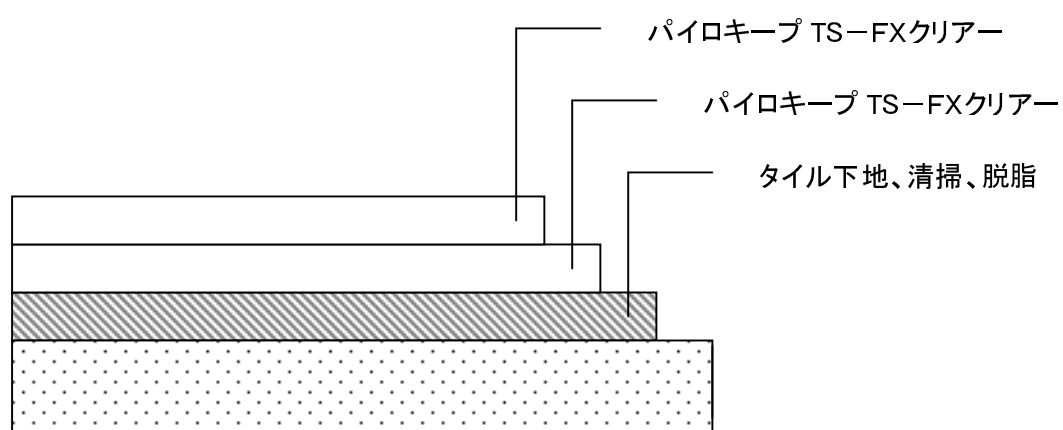


2. 2. 施工方法

工 程	使用材料名	施工方法	標準使用量 (kg/m ²)
素地調整	洗浄・清掃	高圧水洗・クリーナー類(残留無い様)	——
下・上塗り	パイロキープ TS-FXクリアー	パイロキープTS-FXクリアーを規定の配合で混合し、 <u>ローラー</u> 、 <u>刷毛</u> にて均一に塗布する。	0.1～0.12 × 2回 (壁面標準) 0.12× 2回 (床面標準)

3. 材料配合と施工仕様

工程	使用材料	配 合	塗装間隔 (20℃)	標準使用量 (kg/m ²)	希釈率 (%)
下・上塗り	TS-FX クリアー	主剤: 7kg 硬化剤: 3kg	1 回目塗布後 6 時間以上 4 日以内	0. 12 × 2 回 (壁面標準)	無希釈 (標準)



4. 施工上の留意点

4. 1. 施工前

パイロキープ施工前に素地調整層の表面状態および作業環境についてチェックする。

- ① 前処理、表面清掃が完全に行われ、表面に汚れ・油脂等の付着が無い事を確認して下さい。
- ② 洗浄剤等の残りが無い様、充分な水洗・洗浄をして下さい。
- ③ 5℃以上の環境温度が確保されている事を確認して下さい。
- ④ 過湿状態での塗装（85%以上）は避けて下さい。（透明度・艶が減少する、白化する場合があります）雨あたり、冬場の結露あたり注意

4. 2. 施工中

旧活塗膜の上から塗装する場合、旧活塗膜をちぢませたり、端末を浮かせたりしていない事を確認して下さい。（事前テストが可能であれば、テスト施工願います。）

トップコートの塗布

1) 気泡の発生防止（シリコンリッチな特殊材料の為、泡残りしやすい）

泡はピンホールの原因になるため、以下のことを守り、泡の発生を防止して下さい。

- ① 主剤と硬化剤の混合する際はハンドミキサー等を用い低速で静かに混合する。（攪拌不足は硬化不良や硬化時間遅延の原因になります。）攪拌後はネタを5分程度寝かせて下さい。
- ② シンナー希釈は、作業性に問題のない範囲で無希釈とし、ダレることなく膜厚の確保が出来る様コントロールして下さい。（※ダレやすい傾向があります。薄めの塗装として下さい。）
- ③ ローラーを用いる場合は、できるだけ口径の小さく毛足の短いものを使用する。（無泡ローラー等）気泡が発生の際は、塗装後5分以内で短毛の空ローラー等にて泡を潰し、上塗り塗装でピンホールができないよう、施工して下さい。

気泡の発生した個所については手刷毛で撫でて潰す。

- ④ 夏場の夕方は虫が多い為、指触乾燥が夕方・夜間に持ち越さない時間で切り上げる作業工程として下さい。

2) 塗り重ね時間

硬化時間は、気温・湿度によって変わりますので注意して下さい。気温が10℃以下では硬化速度が遅くなるので、硬化促進剤を用いて調整する場合もあります。促進剤の添加量は1%以内で使用して下さい。また、硬化促進剤を使用すると塗料のゲル化が早くなりますので、使用の際はポットライフ（混和後1時間程度）を考慮して添加して下さい。

塗り重ねのおおよその目安は、 5 ～ 9℃ …… 8～12時間以上4日以内

10 ～ 19℃ …… 6～8時間以上4日以内

20 ～ 30℃ …… 4～6時間以上4日以内

4. 3. その他

- ① シンナー添加の際は、5%以内にとすること。
- ② **※クリアーの場合、セメント目地は吸い込みムラが発生しやすいです。（色差や白化的な白ボケの発生）→セメント目地はローラーや手刷毛でシゴキ塗り要領で塗り込んで下さい。（目地全体が均一な濡れ色となるように）**

5. 塗膜管理について

- ① 目地は、目地刷毛・ローラ等により充分塗り込んで下さい。
- ② ピンホールの発生しない施工
塗膜のピンホールやドームを防ぐため、施工には無泡ローラー・短毛ローラーを使用し、気泡の発生した個所については空刷毛で撫でて潰す。

以上